

南部

老人福祉
ふれあいタウン

ミルバーエリア



平成6年 新春号

今年は「戌」年、イヌは人類史上最も早く家畜となった動物で、約一万年位前に掃除用で人に飼われ始めた様です。

狩猟用・番用・労役用として人に益する家畜ですが、語の用法では「一死」「一侍」「一羊」等、くだらぬもの、むだなものの意を表わす事が多く気の毒を感じがします。

最近では福祉の分野で活躍する介護犬（盲導犬・聴導犬・パトナードック）が注目されておられ、益々、人に不可欠な存在と成って行くでしょう。

写真は、昨年十二月十九日、子どもと老人のふれあいセンターにて行われた、もちつき大会の一コマです。



第9号

秋田県社会福祉事業団
秋田県南部老人福祉総合エリア



謹んで新年の お慶びを申し上げます

穏やかな陽光が山々を金色に染め、眩しいばかりの輝や
きを享けながら新年の朝を迎えることができました。

昨年はこの恵みの享受が少なく、あらゆる植物の育成が
順調を欠きました。

人間も一定時間日光に当たりながら散歩や適度の運動量
を確保することによって摂取したカルシウムの沈着度がよ
り良好と言われております。

年頭に当たり、ここで生活されている方々や、働いてい
る職員も太陽の光という恵みをいかに上手に営みの中に活
かすかを考え実行する年にしたいし、今一度健康保持の原
点をふり返りたいと思います。

どなた様も、よい年でありますように。

平成六年一月一日

300字



南星画

秋田県南部老人福祉総合エリア
管理者 佐々木盛輝

第2回社会福祉事業団職員海外研修

平成五年九月二十四日より、十月九日までの十四日間の日程で社会福祉事業団職員海外研修が行なわれ、当エリアからは磯部愛子さんが参加しました。



ホームステイ先のニールセンさんと

「アンデルセン童話の国で」

シルバーケアセンター

主査 磯部 愛子

第二次世界大戦の折、ドイツからの侵略に短時間で降伏したというデンマークには、

今もなおアンデルセンが童話を書いていた時代そのままの町並があり、千葉忠夫先生の「国敗れて山河あり」との説

明におおいにうなずかされま
感じたりして、私の良い思い
した。
私達が一週間滞在したポー
デンセは童話の国に迷いこん
だような美しい町でした。町
の人々はとても親切で友好的
であり、戦いを嫌う国民性と
はこんなことなのだろうかど
感じたりして、私の良い思い

出となっておりま。

高福祉・高負担による生活の圧迫の厳しさ等は一旅行者である私には伺い知るところも無く、人なつっこい笑顔ときれいな町並、商店に並ぶ実用的で安価な品物にただ感動してばかりで、暇をつくっては町に冒険を求めて出かけました。

高度経済成長を追い求めて来た日本では、とうの昔に淘汰されたであろう手作りの民芸品の親爺さんが、自分の作品と作業台をデンマーク語とジェスチャーを交えて自慢してくれました。「ノーマネー」と片言の英語で、買えるだけの小物を買ひ、財布の中身とは逆の豊かな気持ちに包まれ、デンマークが生活大国といわれる意味が解りかけたような気がしました。

町の中にはゴミひとつ落ちておらず、ゴミ箱も置いてありません。犬の糞持ち帰り用ビニール袋が取り出せる説明つきの箱が、町の片隅にあるのが珍しく思えました。自動販売機もありません。予備知

識はありましたが、ゴミを出さない配慮を肌で感じました。食事でも食べ残し無しのバイキング形態で残飯など出ません。道路を走る車も極端に少なく感じました。無駄が無いが質しい生活とも思えませんでした。

生活の無駄が省かれ、税金が高いデンマークですが、胎児から墓場までの生活が保障されて、デンマーク国民は生涯ゆつたりと安心した人生が送れます。

老後の幸せの為に貯蓄に苦慮し、子供の学費の捻出に夢と働きがいを感じている我々日本人と、生活を保障された

デンマーク人とどちらが生き生きと生きているのだろうか、ある程度の競争原理・自助努力は生きる張り合いとなつて

いる部分もあるのではないだろうか、との疑問が残ったのは団塊の世代・競争の世代に教育をうけた日本人としての思いなのかも知れません。競争原理に基づく教育は福祉教育の観点から見た場合とんでもない、人間を差別する心を植え付ける結果を招いている、とのことを学びましたが、反面に資源に恵まれない日本を経済大国にまで成長させた原動力を失わないままで、生活大国デンマークに近づく難しさ、原点からの違いと、民主主義と教育制度の違いに大きなギャップを痛感しました。



ドイツの街角にて

散策路

好評!!

「チャレンジ・ザ・冬休み」

当エリアでは、地域の小学生を対象に親子で行なう「チャレンジ・ザ・冬休み」を実施し、「陶芸教室」「木工教室」「切り絵教室」「料理・お菓子に挑戦」の四部門に合わせ約四百人が参加しました。

陶芸教室では、参加者のほとんどが初体験でした。シルバー利用者のお年寄りのアド



シルバーケアセンター



十二月二十日(月)、利用者の皆さんが待ちに待ったシルバーケアセンター恒例の大忘年会がエリア新館大広間に、開催されました。利用者有志による踊り、ボランティアの披露、職員の演芸、利用者による隠し芸など、盛りだくさい御馳走をいただき、2時間は、あつという間でした。利用者の皆さん、今年も元気でよろしく願っています。

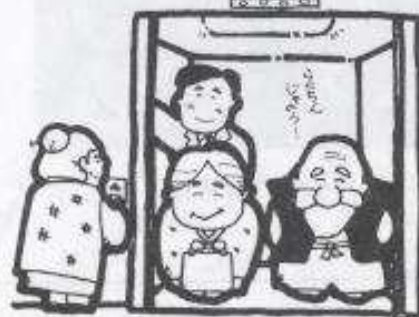
軽費老人ホーム(ケアハウス)

エレベーター

新設される!

平成二年の開設当時から、入居者の方々より早くエレベーターを設置して欲しいとの要望を受けていましたが、昨年十二月より設置に向けての工事が開始されました。

エレベーターが設置されることにより、二階居室の入居者はもとより、お茶会等の交流や娯楽室の利用など、ホーム内での生活行動範囲がより一層広がることと期待されています。



特別養護老人ホーム(白寿園)

(白寿園)

園のお年寄りが若かりし頃「ハハのおちそうといえは」「ハハのこちそうといたす」「ハハの根煮物」「紅白なます」「煮干しだしのタハタギし」そして餅だつたそやでんぶ」をめでたいことか入です。何かめでたいはたいい入れば餅をつき、それはたいい入んなこちそうでした。

そんな夢を再現しようとする。そんな夢を再現しようとする。そんな夢を再現しようとする。そんな夢を再現しようとする。そんな夢を再現しようとする。

師走の一日もちつきは、正月した。つきあがった餅は、正月のお供餅として完成し正月の準備は万端整いました。

エリア

コミュニティセンター

パイスを受け、茶わ、皿、恐竜、今年のエトの、など思い思いの物が形となって行きました。

冬休みの宿題ができるとうあって、子供達も真剣でしたが、一緒に参加した父兄の方が一生懸命な家族も多かった様で「ワイワイ、ガヤガヤ」と賑やかに有意義な一日を過ごしました。



子どもと老人のふれあいセンター



去る、十一月十一日、当ふれあいセンター主催「ふれあい楽しみ会」が屋内運動広場で行われました。

大森町内保育所(園)の年長児80人とエリアのお年寄り20人が赤・青組に分かれ、ゲームで対抗戦。

元気な子供達の声援に、お年寄も大ハッスル、皆さんで楽しい半日を過ごしました。

これからも、この様なふれあい行事を色々計画しますので、皆さんも是非参加してください。



養護老人ホーム

何回か降った雪が、根雪になろうとしている。「寒くなつたね」「ほんと寒いね」とあいさつを交わす中、「いつてらっしゃい、いつもありがどう」と声をかけると「うん」とだけ重い響きが返ってくる。コミセン営業終了後のスリッパの後片付けのボランティアをしてくれる方々へのあいさつだ。火曜日から日曜日まで毎日続く。何かをしたい、体を動かしたい、そんな希望で始まった活動で、もうすぐ2年になろうとしている。寒い日は、汗だくになり、寒い日は、手がかじかむだろうと心配する。しかし喜々として、無理な様子もなくいきいきしている。「土、日曜日は、親子連れが多く、スリッパも広範囲に散らばる」と話す。我々の世代の公衆道徳のなさを痛感する。いつもありがどう。いつまでもお元気で。

診(リハビリ)センター



10月13日、16日にわたり、ラウンジにおいて、健康相談、介護機器の展示・血圧測定、漬物の塩分測定・介護方法などのビデオ放映を行いました。

ふだんあまり目にする事のない電動ベットやエアーマット・多種類の補助具などの介護機器については、質問や相談も多く、介護者も、介護される方も、老後の日常生活や、健康管理には関心が高まっています。

出会い・ふれあい・語らいの街

奥羽山脈や横手盆地を一望できる静寂で絶景の地に建設された「南部シルバーエリア」は、「活力とうるおいに満ちた長寿社会秋田」を目標にお年寄りの方々の福祉、医療、居住、社会参加等をすすめる総合的な機能を持つ施設として、秋田県が建設したものです。

老人専用マンション・特別養護老人ホーム・介護老人ホーム・軽費老人ホームの4種類の居住施設のほかに在宅老人介護センター、診療・リハビリセンターもあり、地域福祉の中心となっています。

また、一般の方々も利用できるコミュニティセンターには、スポーツ施設、生きがい創作館やレストラン、売店、美容室、理容室もあり宿泊もできます。



■コミュニティセンター施設使用料

区分	利用の単位	利用料		
		夏期 (5月～10月)	冬期 (11月～2月)	
宿 泊	小学生	一人泊につき	2,080円	2,260円
	一般	(兼泊まり)	2,700円	2,900円
休 憩	小学生	一人につき	260円	460円
	一般		530円	730円
休 憩回数券 (6枚券)	小学生		1,290円	※1枚使用料に 200円加算
	一般		2,790円	
会 議 室	1時間につき	1,100円	1,300円	
研 究 室	1時間につき	1,100円	1,300円	
視 聴 覚 室	1時間につき	1,100円	1,300円	
屋内ゲートボールコート	1時間につき		400円	
テニスコート	1時間につき		400円	
屋内プール	一般	1回につき		500円
	高校生	1回につき (10:00～13:00)		400円
	3歳児から 中学生まで	2回につき (13:30～16:30)		200円
屋内プール 回数券 (6枚券)	一般		2,500円	
	高校生		2,000円	
屋内プール 回数券 (6枚券)	3歳児から 中学生まで		1,000円	

※宿泊、休憩等の冬期使用料には暖房費が含まれています。
また、プール利用時間(2回日)は5月から10月までは13:30～17:00です。

楽しい催し物がいっぱい!

- 1月 ○新春おたのしみ会
- 2月 ○雪祭り
- 4月 ○エリア大観桜会
- 5月 ○活き活き学園開講式
- 7月 ○エリア祭
- 9月 ○オーブン記念GB大会
○納涼夏祭り
- 10月 ○エリア杯三市三郡GB大会
○エリア秋の祭典
- 12月 ○餅つき大会

平成6年1月1日発行
秋田県南部老人福祉総合エリア 電話018-226-3880